

温泉の利用状況について

泉 質： 単純温泉（低張性 弱アルカリ性 高温泉）

温泉成分の特徴： 無色・澄明・無味・弱硫化水素臭
（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量： 50.9℃ ー ー 分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H31.4.12）

浴槽の種類とその状況： 屋内浴場、露天風呂、温泉スタンド
（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況： 循環、かけ流し併用式
（温泉資源の保護及び衛生管理のため、循環ろ過装置を利用しています。）

加水の状況： 泉温が高いため、若干水道水を加水しています。

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 閉館後、毎日完全にお湯を抜いて清掃しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入することにより、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成31年 4月12日

施設名 阿蘇市一の宮温泉センター

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会